



第1回学校評価及び学校評議員会の結果について～明星小の今とこれから～

去る10月16日（木）、本校にて第1回学校評議員会を開催しました。授業参観、学校経営や研究及び自己評価結果の説明や給食試食などを通して、学校の取組を多角的にご覧いただきました。評議員の皆様からは温かいご助言とともに、児童の姿や教育環境への高い評価をいただきました。

■学校評議員（本年度から5名体制）

西 謙二 様 後藤 善友 様 金 成妍 様 後藤 竜太 様 蟹谷 智子 様

■会議の概要

<授業参観より>

「どの教室も雰囲気がよく、授業を受けたくなる」「ICT機器を使いこなし、低学年も落ち着いている」など、児童の主体的な学びや先生方の丁寧な関わりが高く評価されました。

一方で、「言語活動のさらなる充実が必要」とのご指摘もありました。各教科で、質の高い探究的な授業を目指してまいります。



<学校評価及びアンケート説明>

児童・保護者・教職員の三者からのアンケート結果（1学期末）をもとに、学校の自己評価を行いました。それを評議員の方に再評価していただき（外部評価）、自己評価の妥当性（A評価16項目、B評価6項目）が確認されました。



主な肯定評価（保護者回答より）

「教育活動全体が学校教育目標に向かっている」…93.8%

「探究する子の面が伸びている」…91.7%

「心みがく子としての成長を感じる」…86.5%

「行動する子としての力が育っている」…88.5%

「本年度重点『いつでもどこでも探究する子』として育っている」…84.2%

児童からも「探究する子・心みがく子・リーダーシップのある子を増やしたい」「明星小の文化を広げたい」といった声が多数寄せられました。

なお、児童アンケートでは、「女子用長ズボンが欲しい」「遊具を増やしてほしい」「イベントをもっと楽しく」など、具体的な提案が多数。保護者からも「スクールバスの利便性」「連絡手段の改善」「探究・ICT・地域連携への期待」などの建設的な声が寄せられたことを説明しました。

電子配布のみ

<本年度の研究と成果説明>

研究テーマ「主体的な探究力の育成」に基づき、3年間取り組んできました。来年度は、いよいよ九州地区の私立小学校の教師研修会場での公開です。今回は提案授業や公開研究会実施を説明。

成果や状況についてご質問があり、「これらの取組により、全国学力調査では、国語+11、算数+20、理科+13（全国比）と、探究的な学びが成果に結び付いている」ことをお伝えしました。

<デジタル改革の進展状況説明>

iPadの個人購入、大型モニターの導入、デジタル教科書・電子書籍「Yomokka! Sagasokka!」の活用など、ICT環境を整備について説明。

それらの効果についてご質問があり、「読解力や記述力の向上にもつながっている」「紙の図書との併用により、貸出冊数も増加」「大型モニターは全教室に揃うまであと5台。整備を進めたい」旨説明しました。



<いじめ・不登校への対応説明>

一昨年、昨年度に比べて減少傾向にあり、ケース会議やスクールカウンセラーの活用など、丁寧な対応を継続している内容を具体的に説明。

スマートフォン持ち込みについてご質問があり、「申込者50名を超えた」「不適切な扱いが2件あり持込禁止等の指導を行った」旨、お話ししました。



<給食の試食をしていただいて>

給食委託業者変更から1年。今回も評議員の皆様から「おいしい」との声をいただきました。

その際、児童からは、アンケートで「季節のデザートをもっと」「七タゼリーがなくて残念」等の声があったこともお伝えし、栄養士と協議して今後の献立の充実を図る旨お話ししました。

■今後に向けて

明星小学校は、児童・保護者・地域の皆様とともに、「探究する子・心みがく子・リーダーシップのある子」をしっかりと育てて参ります。皆様の声やご助言を受けて、制服の在り方、遊具整備、行事の見直し、連絡手段の見直しや改善などを進め、より良い学校づくりに努める所存です。

なお、以上の内容は、法人に報告して共有していることを申し添えます。

また、以上の詳細な内容は、学校のホームページに掲載しています。

